

(2) 蔵入承認 (IS) された貨物情報での 移入承認 (IM) 申請の可能化



2022年3月10日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

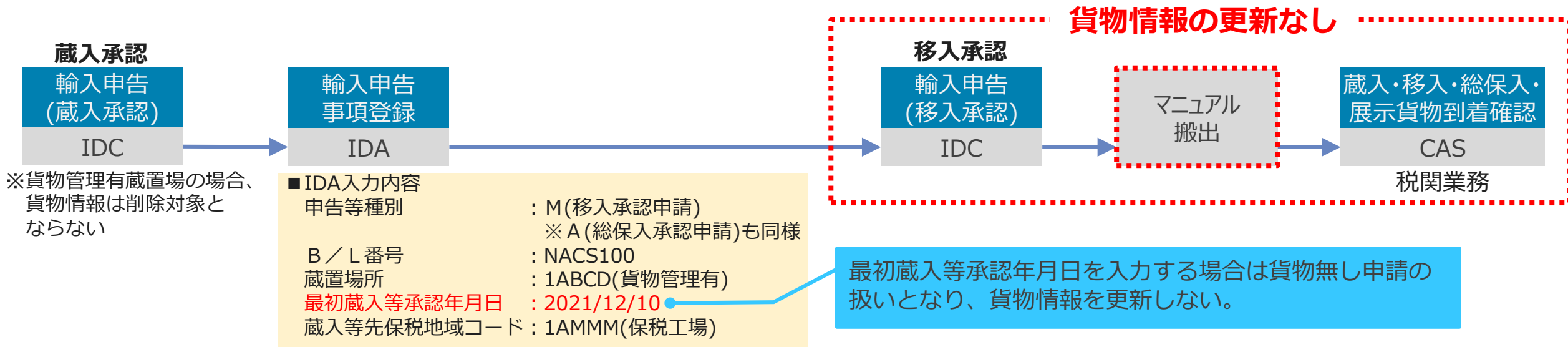
区分	概要
1. 検討項目	蔵入承認（IS）された貨物情報での移入承認（IM）申請の可能化
2. 変更要望	海上貨物において蔵入承認済貨物の貨物管理を行う保税蔵置場（以下、貨物管理有蔵置場）にて、蔵入承認済貨物の移入承認申請(IM申請)、総保入承認申請(IA申請)を行った場合に、貨物情報を更新し、税関による貨物情報削除が不要となるようにして欲しい。
3. 次期仕様	<p>1. 貨物管理有蔵置場で蔵入承認された貨物情報に対して移入承認申請、総保入承認申請を行った場合、その旨を貨物情報に登録する。</p> <p>2. 貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請に向けた「輸入申告事項呼出し(IDB)」業務を実施可能とする。</p> <p>※蔵入承認後の貨物管理は海上システムのための機能であるため、本変更は海上の蔵入承認申請に適用する。</p>

【貨物情報が更新されない】

貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請は貨物無し申請の扱いとなるため、貨物情報を更新していない。（貨物情報が滞留状態となる）

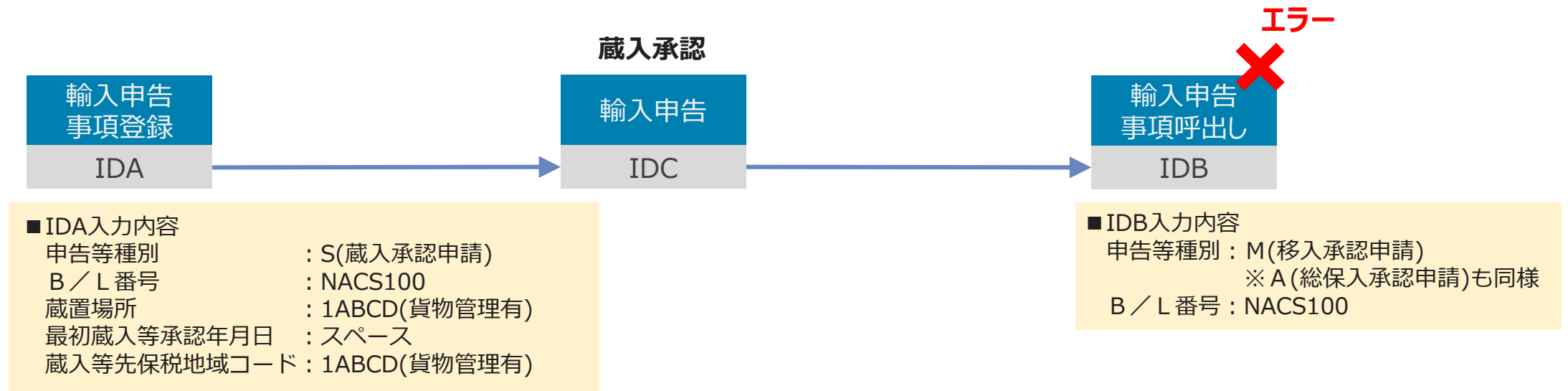
【貨物情報が削除されない】

貨物情報が滞留するため、税関による削除が必要となっている。



【IDB業務実施不可】

貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請について、貨物情報が存在するにもかかわらず、呼出し業務ができない。



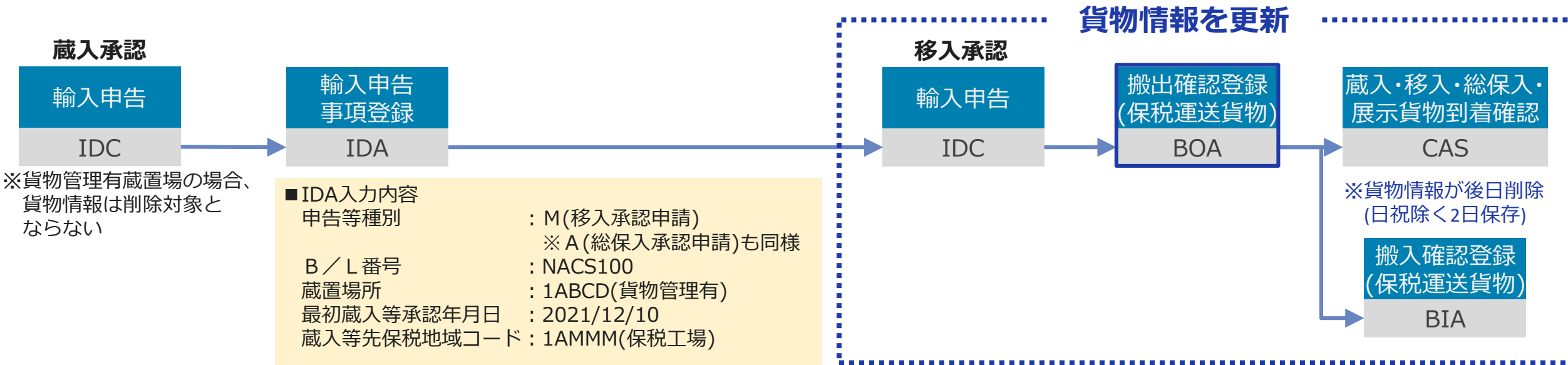
【貨物情報を更新する】

貨物管理有蔵置場における蔵入承認済貨物に対する再移入、再総保入承認申請の場合で、通関予定蔵置場が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合、貨物情報を更新するように変更する。

※移入等先で到着確認(CAS業務)または搬入確認(BIA業務)が実施されると、貨物情報は後日削除(日祝除く2日保存)される。

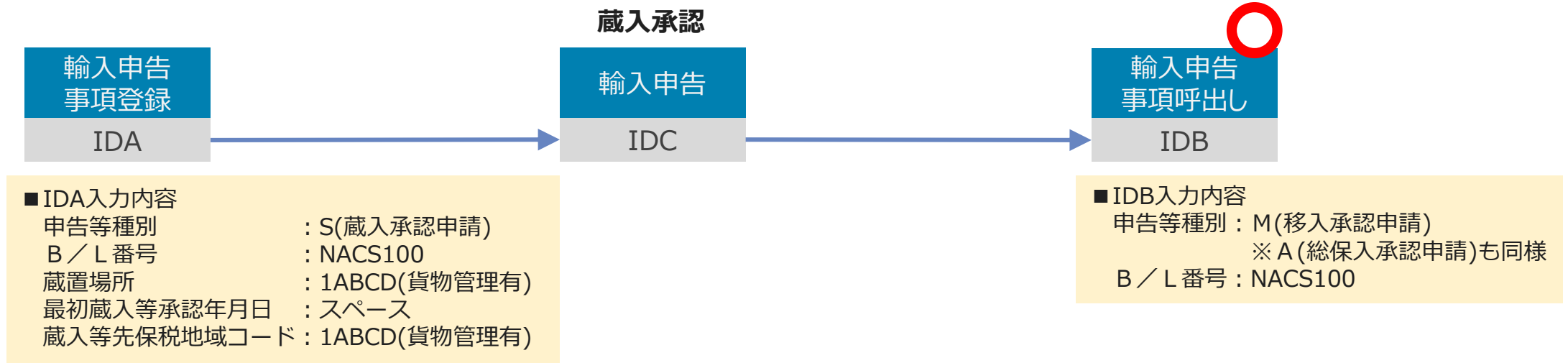
【貨物情報のマニュアル削除が不要】

貨物情報が削除対象となることで、税関様によるマニュアル削除が不要となる。



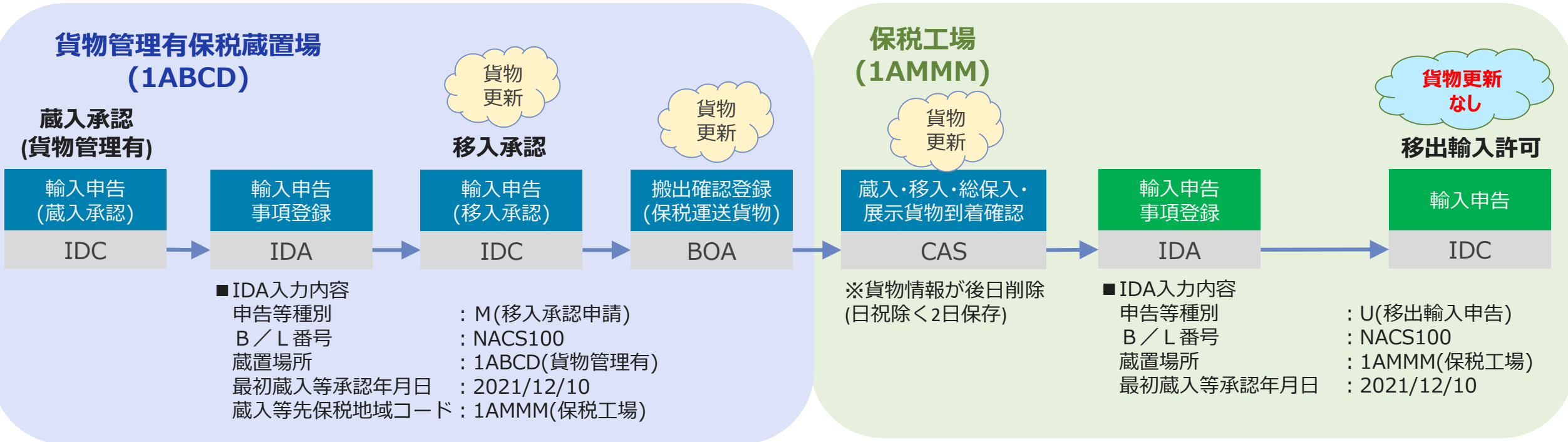
【IDB業務を実施可能とする】

貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請に対する呼出しを実施可能とする。



4.再移入承認、再総保入承認後の貨物管理について【参考】

(例) 蔵入承認(貨物管理有) ⇒ 移入承認 ⇒ 移出承認を実施する場合



移入承認、総保入承認後は貨物管理対象外のため、貨物情報の更新を行わない。
※貨物情報はCAS業務等後に削除される。

5.管理資料「輸入貨物搬出入データ(G01)」の出力について

(例) 蔵入承認(貨物管理有) ⇒ 移入承認 ⇒ 移出承認を実施する場合

貨物管理有保税蔵置場(1ABCD)

輸入申告
(蔵入承認)

IDC

輸入申告
事項登録

IDA

輸入申告
(移入承認)

IDC

搬出確認登録
(保税運送貨物)

BOA

■ IDA入力内容

申告等種別 : M(移入承認申請)
 B/L番号 : NACS100
 蔵置場所 : 1ABCD(貨物管理有)
 最初蔵入等承認年月日 : 2021/12/01
 蔵入等先保税地域コード : 1AMMM(保税工場)

輸入貨物
搬出入データ

保税工場(1AMMM)

蔵入・移入・総保入・
展示貨物到着確認

CAS

※貨物情報に削除表示
(日祝除く2日保存)を設定

輸入申告
事項登録

IDA

■ IDA入力内容

申告等種別 : U(移出輸入申告)
 B/L番号 : NACS100
 蔵置場所 : 1AMMM(保税工場)
 最初蔵入等承認年月日 : 2021/12/01

輸入申告
(移出承認)

IDC

システムでの搬出 (BOA業務) が可能となることにより、
 輸入貨物搬出入データ(G01)に情報出力が可能となる。

出カイメージ(出力内容に変更無し)

出力先	搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	貨物管理番号	搬出区分	許可番号	許可日	搬出先
1ABCD	20211201	1200	20211220	1500	NACS100	IM	10000000000	20211215	1AMMM